

第3班 施設園芸チーム

加藤 元保

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場

概要

温室の運用規模を縮小し、主として養液栽培、養液土耕栽培による果菜類の栽培管理、調査実習を行った。例年行っている野菜苗生産販売、中学生の職場体験、夏休みこども体験学習は中止となったが、保育園の野菜栽培指導は引き続き行った。

総括

各施設の管理状況を第1表に示した。

昨年度まで栽培を行っていた土耕温室と旧林産温室は、今年度は運用を中止した。

- (1) 育苗温室では栽培生産・実習用、保育園提供用の野菜ポット苗の、播種から育苗・苗出までの一連の管理を行うようにした。

これにより旧ミスト繁殖温室は養液栽培定植苗管理専用とした。

- (2) 旧ミスト耕温室では前期・後期の2回ミニトマトの養液土耕栽培実習を行った。

後期では並行して異なる培地による養液栽培の生育調査実習も行った。

- (3) 礫耕温室は昨年度同様大玉トマトの無加温栽培を行い、出荷不適な果実は、加工チームにジャム加工用として供出した。加工にも適さないものは畜産チームに羊の餌として供出した。

- (4) 旧ミスト繁殖温室では、礫耕用のトマト苗と旧ミスト耕温室での養液栽培実習用のミニトマト苗の準備を行った。

第1表. 温室・圃場の栽培管理状況

育苗温室

		R2.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培 層	野菜苗			☆☆○	—	■									底面給水ベンチ自動灌水
									☆○	—	■				養液土耕用ミニトマト
											☆○	—	■		キャベツ, カリフラワー, ブロッコリ, メキャベツ, ケール, コールラビ, ハクサイ (保育園用)
防除 層	アブラムシ類					▶								スタークル顆粒水溶剤	使用 薬剤
						▶								ムシラップ	

凡例 ☆播種 ○移植 ■苗出期 ▶散布

旧ミスト耕温室

		R2.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培 層	ミニトマト (地域環境デザイン 学教育コース・地球 環境システム学教育 コース)					●	—	■						コンテナ使用隔離ベット式栽培 養液土耕栽培 肥培管理：流量比例式液肥混入機 使用点滴灌水 6～8月：タンクミックスA,B 10～11月：タンクミックスF,B 11～2月：タンクミックスA,B	
	(農林生物学教育 コース・農業生物ブ ログラム, 森林科 学プログラム, 国 際開発資源学教育 コース)		■						●	—	■				養液栽培：OATハウス肥料A処方 使用培地：くん炭+ビートモス, ヤシ殻
	(教育学部技術科)									●	—	■			
防除 層	コナジラミ類								△					アルバリン粒剤	使用 薬剤
												▶		コルト顆粒水和剤 モベントフロアブル チェス顆粒水和剤 ディアナSC	

凡例 ●定植 ■収穫期 ▶散布 △植穴処理土壌混和

礫耕温室

		R2.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
栽培 層	トマト		■	■	■									養液礫耕方式 17m×8ベット 培養液管理：OATハウス肥料 B, C, SA, SC処方 1月～3月：B処方 4月～5月上旬：B処方 5月中旬～7月：SA処方 8月～10月上旬：SC処方 10月中旬～11月：C処方 12月～：B処方
	コナジラミ類						▶					▶		

凡例 ●定植 ■収穫期 ▶散布

旧ミスト繁殖温室

		R2.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
栽培 層	トマト								☆	—	■			礫耕温室用
	ミニトマト									☆○	—	■	■	旧ミスト耕温室用

凡例 ☆播種 ○移植 ■苗出定植